

本校の高等学校「特進βコース」は、国公立大学や主要私立大学への進学を目指すコースです。また、「総合探究」の時間は他コースとは異なり、「国際探究」と銘打って、オンライン英会話や少人数PBL（Project Based Learning＝問題解決型学習）授業を行っています。これにより、英語の発信力を強化し、グローバル社会に通用する英語力と国際感覚を育成することを目指しています。

今回は、5月25日にお伝えした内容に引き続き、今学期3回に渡って行われた「国際探究（少人数PBL授業）」の様子をお伝えします。

2学期のテーマは「環境問題について知り、その原因を探ることで、解決方法を考える」です。3つに分かれたグループで若干進行具合は異なりましたが、共通して行った内容は以下の通りです。

〈9月〉

- ・今回の取り組みのベースとなる、環境問題についての動画視聴（＝（株）ジージー様より事前にご準備いただいたもの）
- ・講師の方から、環境問題についての事例の紹介

〈10月〉

- ・テキストを読み、実際の環境問題について知る。

〈10月～11月〉

- ・最終、生徒自身がもっとも気になった環境問題を1つ挙げ、その背景を調べた上での解決策を、英語でのスピーチとポスターでプレゼンする。

写真は、プレゼンの準備に余念のない生徒たちと完成したポスター、そしてプレゼンのリハーサルの様子です。





今回、実際に生徒たちが取り上げた環境問題とその解決策（かっこ内）を、一部抜粋して掲載します。

- ・地球温暖化（有毒なガスや二酸化炭素を出すような発電方法をクリーンで永久的に使えるような発電方法に変える。）
- ・排水問題（食べ残しをなくしたり油物は拭き取ったり、洗剤を使いすぎない。）
- ・リサイクル（エコバックを使ってごみが出るのを防いだり、ごみの分別をする）
- ・有害ガス（ガスを減らすために普通の自動車を電気自動車に変え、工場や火力発電、家庭から出る排出ガスを減らす。個人で出来ることとして移動を徒歩や自転車にすることやエネルギーを無駄遣いしないこと。再生エネルギーにも注目する。）

3学期は仕上げとして、いよいよプレゼンを行う予定です。

また、ここまでの「国際探究」を振り返っての生徒の感想を、抜粋して掲載します。

・ネイティブの先生と話すことによって発音の仕方や、強弱のつけ方などたくさん学べることがありました。先生と会話をしていて伝わった時の喜びや、会話をしていてとても楽しいので対面の授業は毎週楽しみにしています。伝わらない時もありますがそれがなくなるように頑張りたいです。

- ・一学期に始めたころに比べたら、少し英語を聞き取れるようになったかなと思います。オンライン英会話や対面の授業で難しい内容だったり単語だったりたくさんあるのでなかなか理解するのが難しいこともたくさんありました。質問されたことをなかなか、すらすら答えることが出来なくて苦戦することのほうが多かったです。だけど、楽しかったです。残りの授業で質問を答えるのをもう少しすらすら答えられるようになりたいです。
- ・はじめは緊張して話せなかったり、話したくても単語が出てこず悩むことが多々ありましたが、今では自分が思いつく限りの英語でも話してみよう、伝えてみようという意識が生まれ、先生ともうまく話せるようになってきました。難しさも多くありましたが、友達と楽しく学べることにより話すことに躊躇なく、授業を取り組めました。
- ・対面授業では、環境問題について話を聞いたり考えていくなかで英語への理解を深めることができた。オンライン英会話では、英語を聞き取ったり、質問に答えたりするのは難しかったが、普段身につけることができない英語の力を身につけることができた。

このように、開始当初は戸惑うことの多かった「国際探究」も、回を重ねていくうちにだんだんとできることが増えてきて、英語を使う難しさも感じつつ、それと同時に、英語を使う楽しさも感じられるようになってきている様子がお分かりになるかと思います。

今後も、「特進βコース 国際探究」についてお伝えする予定です。引き続き、よろしくお願い申し上げます。